



GOOD DESIGN AWARD 2015



暮らしと産業、そして社会全体を豊かにする「よいデザイン」はいかに生み出されるのか。
グッドデザイン賞を受賞した東北のプロデューサー、デザイナーの2人が実践する、
事業への取り組み方と、その「思い」に迫ります。



日時

2015.12.21. 月 [13:30 - 16:00]

会場

秋田県庁第2庁舎 8階大会議室

※駐車場が混み合います。公共交通を利用もしくは本庁舎及び周辺の駐車場を利用の上、余裕を持ってお越しください。

講演①

グッドデザイン賞ベスト100・地域づくりデザイン賞

株式会社 kedama 代表 武田 昌大 氏

「都会と田舎を動かすデザイン」

消滅の危機にある古民家の再生から始まった、都会と田舎をつなぐ仕組み「シェアビレッジ・プロジェクト」。
画期的なコンセプトを打ち出し、クラウドファウンディングでわずか32時間で事業化資金の目標額を達成。
空き家活用、地域活性化、観光振興、文化継承、コミュニティビジネス・・・活動は様々な視点で、いま県内
外の起業家や自治体から多くの注目を集めている。
少子高齢化、人口減少社会でもあきらめない！ 人々の共感を集め、動かす原動力とは？



講演②

2015 年度グッドデザイン賞

デザインハウス WASABI デザイナー 佐藤 和子 氏

「生活を見つめ直すデザイン」

若い世代にも親しみやすく、手軽に始められる「ぬか漬け」の体験キット「ぬかどこ塾」をはじめ、様々な食品・日用品をプロデュース。
パッケージだけでなく、実際に商品に触れる機会もつくる等、もの
づくりだけでは終わらない、これからのデザイナーの役割とは？



8階ロビーにて講演者の受賞商品と秋田県の2015年度受賞品を展示します。是非ご覧ください。

主 催：公益財団法人あきた企業活性化センター（あきた産業デザイン支援センター）・あきた産業デザイン協議会

共 催：秋田県

協 力：公益財団法人日本デザイン振興会

後 援：株式会社 kedama・デザインハウス WASABI・秋田協同印刷株式会社・秋田木工株式会社・進藤電気設計（順不同）